



## 第68回 定時総会開催

(一社)日本道路建設業協会中部支部は5月30日、名古屋市東区のメルパーク名古屋にて第68回定時総会を開きました。

15年度の事業報告・決算及び役員の変更等を可決承認し、16年度の事業計画と収支予算などを報告しました。

役員改選では、支部長に青野俊弘東亜道路工業中部支社長、幹事長に石井直孝佐藤渡辺中部支店長を選出し承認いたしました。

議事に先立ち本部役員出席のもと、協会表彰が行われ、技能社員表彰者には増永修平会長から表彰状が授与されました。

青野支部長は公共工事設計労務単価の改定に触れ、『協会の提言が少しずつ成果となってきたことは評価できると受け止めている』と述べました。

又、品質確保促進法が施行されたことで『発注者に改正

品確法の理念や運用方針に基づいた運用が浸透するよう、さらなる取組を要望する。一方でわれわれ受注社側としても労働条件の改善や労働環境の整備などの取り組みを加速させる必要があり、一丸となって時代の変化に対応しよう』と呼びかけました。

本部から参加した増永会長は『昨年策定した中期ビジョンを会員とともに着実に実行し、若者や女性も含め、働く者が夢と希望を持てる道路建設業界にしていかなければならない』と語りました。

報告された16年度事業計画には、基本方針として『道路整備の推進』『道路建設技術の向上』『道路建設業の健全な発展』の3点を明示し、発注者らとの意見交換、講習・研修会、講演会の開催、安全パトロールなどを盛り込みました。



技能社員表彰受賞者

